

自然と一体化した社会

長野県長野工業高等学校 土木工学科

石井柊捺、北沢愛実

テーマ設定の理由

- 地球温暖化が進んでいるので緑をもっと多く増やし、自然と一体化した社会を作りたいと思ったから。
- SDG s 7番 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11番 住み続けられるまちづくりを
- 13番 気候変動に具体的な対策を
- 14番 海の豊かさを守ろう
- 15番 陸の豊かさを守ろう

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



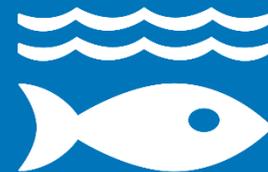
11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさ
を守ろう



15 陸の豊かさ
を守ろう



自然の現状

- 自然の豊かさは58%も消失
- 人口が減っているにもかかわらず、衣服の購入量は20億着から35億着に増加している。(約1,7倍)(1990年→2019年)
- 家庭から手放される衣服の量は年間75万トン。そのうち50万トンがごみに(95%…焼却、埋め立て。5%…再資源化)



pixta.jp - 11676026



問題点

- ごみを焼却することで、二酸化炭素が出て地球温暖化が進む。
- 様々な場面で資源を多く使う。
- 自然の問題点として、水質汚染 大気汚染 森林破壊がある。



今後の課題

- このまま何の対策もしないと、二酸化炭素の排出量が増え続け、地球温暖化が進行する。
- 緑を多く増やし、森林破壊を防ぐ必要がある。

10代からの提言

- 学校や公園などに緑をもっと多く増やし、自然と一体化した社会をつくる。



考察,感想

- 地球温暖化や自然について調べてみて、他の国の活動内容やこれから自然とどう向き合っていけばいいか分かりました。
- 自然の現状や問題点を調べてみて今ある環境を守るために私たちがするべきことがたくさんあるんだなと思いました。